

## 法人運営分野

① 理事会評議員  
会の開催・監  
査の実施

(1)理事会

6月24日の評議員会で理事・監事の選任決議が可決され、同日、会長・副会長の選任決議を行った。理事は、地域の福祉関係者、地域の代表者として自治会長会会長、社会福祉事業を営むものとして社会福祉法人の理事長、ボランティアの代表や学識経験者を含めた8名となった。会長に安藤修平氏、副会長に宮内誠氏が就任した。また、苦情解決第三者委員に岩田利弘氏 橋本美千代氏に就任いただいた。

[任期：令和3年6月24日から2年以内に終了する会計年度のうち最終の定時評議員会の終結時まで]

理事会の開催状況	
6月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和2年度事業報告について</li> <li>② 令和2年度一般会計決算について</li> <li>③ 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について</li> <li>④ 評議員選任候補者の推薦について</li> <li>⑤ 評議員会の日程と招集理由について</li> <li>⑥ 理事及び監事の選任候補者の推薦について</li> </ul>
6月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会長の選任について</li> <li>② 副会長の選任について</li> <li>③ 評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>④ 苦情解決第三者委員の選任について</li> </ul>
8月11日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について</li> <li>② 評議員会への提案について</li> </ul>
10月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 臨時職員等就業規則の改正について</li> <li>② 東員町による監査の報告</li> <li>③ 令和3年度事業経過報告(9月末現在)</li> </ul>
12月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 給与規程の改正について</li> <li>② 常勤臨時職員給与規程の改正について</li> <li>③ 職員就業規則の改正について</li> <li>④ 臨時職員等就業規則の改正について</li> <li>⑤ 育児・介護休業に関する規則の制定について</li> <li>⑥ 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について</li> <li>⑦ 評議員会の日程と招集理由について</li> </ul>
3月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>② 給与規程の改正について</li> <li>③ 常勤臨時職員給与規程の改正について</li> <li>④ 臨時職員等就業規則の改正について</li> <li>⑤ 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について</li> </ul>

- ⑥ 令和4年度事業計画（案）について
- ⑦ 令和4年度一般会計収支予算（案）について
- ⑧ 令和4年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について
- ⑨ 評議員会の日程と招集理由について

(2)理事研修

コロナ禍で収入が減少した方への貸付申請を多く受け付けたため、貸付償還状況と伴走型支援についての理事研修を行った。

開催日：8月11日(水)

会場：東員町ふれあいセンター

内容：講演「コロナ特例貸付の現状と東員町社協の伴走型支援について」

講師：三重県社会福祉協議会 生活福祉資金課 課長 日向智信 氏

出席者：8名

(3)評議員会

6月9日の理事会で評議員選任候補者が推薦され、6月15日の評議員選任・解任委員会で評議員の選任決議が行われた。評議員は地域の代表者、医療関係者、商工企業関係者、福祉事業所、ボランティア活動者など14名の方にご就任いただいた。

[任期：令和3年6月24日から4年以内に終了する会計年度のうち最終の定時評議員会の終結時まで]

評議員会の開催状況	
6月24日(木)	① 理事及び監事の選任について ② 令和2年度事業報告について ③ 令和2年度一般会計決算について ④ 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について
8月19日(木)	① 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について (書面決議により実施) 9月1日 全評議員から承諾をいただき可決
12月23日(木)	① 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について
3月24日(木)	① 理事の選任について ② 令和3年度一般会計収支補正予算(案)について ③ 令和4年度事業計画(案)について ④ 令和4年度一般会計収支予算(案)について ⑤ 令和4年度予算中のサービス区分内流用と予備費の充用について

(4)監査

- ① 6月3日(木) 令和2年度事業報告・一般会計収支決算監査を実施した。
- ② 12月9日(木) 令和3年度前期事業報告・一般会計収支前期監査を実施した。

<p>② 戸別・特別会員の募集</p>	<p>『ふくしのわ』で広く呼び掛け、全地区の自治会長様にご協力いただいた。また、地域福祉座談会やシニアカレッジで社協の役割や会費の使途などを説明した。</p> <p>① 戸別会費の募集状況</p> <table border="1" data-bbox="411 282 1378 423"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>戸別会費実績</th> <th>前年比</th> <th>世帯数から算出した加入率</th> <th>自治会加入世帯数から算出した加入率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>2,715,592 円</td> <td>100.7 %</td> <td>54.3 %</td> <td>65.7 %</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>2,695,515 円</td> <td>98.7 %</td> <td>54.2 %</td> <td>65.4 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 特別会費の募集状況</p> <table border="1" data-bbox="411 468 1378 609"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>特別会費実績</th> <th>前年比</th> <th>年</th> <th>募集の訪問先数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>1,128,000 円</td> <td>134 %</td> <td>令和3年</td> <td>22団体</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>842,000 円</td> <td>104.6 %</td> <td>令和2年</td> <td>20団体</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各戸配布の回数削減のため、共同募金と同時に10月に募集した。</li> <li>・ 8月の自治会長役員会、全体会でお話しし、全自治会様にご協力いただいた。</li> <li>・ 特別会員へお礼状を送付し、会費によって地域福祉を推進していることを伝えた。 (12月末発送)</li> <li>・ 特別会費が増加したのは、座談会や地域の団体との関係がより深まり、理解していただいたためだと考えている。</li> </ul>	年	戸別会費実績	前年比	世帯数から算出した加入率	自治会加入世帯数から算出した加入率	令和3年	2,715,592 円	100.7 %	54.3 %	65.7 %	令和2年	2,695,515 円	98.7 %	54.2 %	65.4 %	年	特別会費実績	前年比	年	募集の訪問先数	令和3年	1,128,000 円	134 %	令和3年	22団体	令和2年	842,000 円	104.6 %	令和2年	20団体
年	戸別会費実績	前年比	世帯数から算出した加入率	自治会加入世帯数から算出した加入率																											
令和3年	2,715,592 円	100.7 %	54.3 %	65.7 %																											
令和2年	2,695,515 円	98.7 %	54.2 %	65.4 %																											
年	特別会費実績	前年比	年	募集の訪問先数																											
令和3年	1,128,000 円	134 %	令和3年	22団体																											
令和2年	842,000 円	104.6 %	令和2年	20団体																											
<p>③ 苦情要望の受付</p>	<p>(1) 苦情の受付 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急事態宣言発令期間中に民生委員が高齢者実態把握調査をすることについて [対応] 民協会長・副会長会を開催して実施時期について話し合い、改めて民生委員に通知した。</li> <li>・ 公用車の運転の仕方について 慎重な運転を心がけるよう職員に周知した。</li> </ul> <p>(2) 苦情解決第三者委員会 開催日 : 8月31日(火) 会 場 : 東員町ふれあいセンター 内 容 : 報告 昨年度の苦情受付と対応 研修 「苦情解決の仕組みと第三者委員の役割」 講師 : 三重県福祉サービス運営適正化委員会 事務局長 稲木和彦 氏</p>																														
<p>④ 職員研修</p>	<p>(1) 総務福祉係</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 事業計画、予算・決算、貸付制度、理事会・評議員会、共同募金事業について学び改善点を検討した。</li> <li>② 専門分野の研修に偏らないよう係員一人ひとりが目標をもって取り組む個別研修計画を作成し、取り組んだ。</li> <li>③ 他の社協と意見交換 愛知県小牧市社協と社協事業全般について意見交換をする予定であったがコロナ禍で実施しなかった。</li> </ol>																														

職員研修	<p>(2)施設事業係</p> <p>①訪問介護：毎月1回、職業倫理、訪問時の心得・接遇マナー、脱水予防、医療的ケア、権利擁護、虐待、コロナ感染予防の全体研修を行った。</p> <p>②通所介護：毎月1回、法令順守、介護予防、認知症ケア、緊急時の対応、コロナ感染予防の全体研修を行った。1名が認知症介護実践者研修を受講した。</p> <p>③居宅介護：資格更新研修、県・桑員支部の介護支援専門員協会研修8回、行政・包括等の研修5回受講した。コロナ感染予防の全体研修を行った。</p> <p>④相談支援：県域で実施する相談支援計画初任者研修でファシリテーターを担当し専門技術を磨いた。1名が相談支援専門員更新研修を受講した。</p> <p>(3)新型コロナウイルス感染症に関する研修 感染予防を徹底してサービスを提供できるよう全部署合同研修を行った。 9月2日(木) 講師：ナーシングホームもも鳥取施設長 青木智子氏</p> <p>(4)人権研修 マジョリティ特権について研修した。(DVD研修)</p>																												
⑤ 寄付金の受付と管理	<p>(1)寄付</p> <table border="1" data-bbox="411 837 1224 1023"> <thead> <tr> <th colspan="4">寄付金の状況</th> </tr> <tr> <th>期間</th> <th>実績</th> <th>件数</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>1,580,675 円</td> <td>59件</td> <td>129.8 %</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>1,217,891 円</td> <td>51件</td> <td>63.7 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 寄付者名を『広報とういん』とホームページに掲載したが、10月以降は『広報とういん』に掲載できなくなり、都度、ホームページに掲出した。</p> <p>② 寄付をいただいた方に『ふくしのわ』を渡し、社協事業を説明した。</p> <p>(2)バナー広告 新たな財源確保と地域福祉に関心を寄せる方・企業の拡大を目的にバナー広告を継続した。ご協力いただける企業が1社増えた。(広告掲載料1ヶ月1,000円)</p> <table border="1" data-bbox="411 1301 1069 1487"> <thead> <tr> <th colspan="3">バナー広告の収入状況</th> </tr> <tr> <th>期間</th> <th>実績</th> <th>協力社数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>215,000 円</td> <td>19 社</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>205,000 円</td> <td>18 社</td> </tr> </tbody> </table>	寄付金の状況				期間	実績	件数	前年比	令和3年	1,580,675 円	59件	129.8 %	令和2年	1,217,891 円	51件	63.7 %	バナー広告の収入状況			期間	実績	協力社数	令和3年	215,000 円	19 社	令和2年	205,000 円	18 社
寄付金の状況																													
期間	実績	件数	前年比																										
令和3年	1,580,675 円	59件	129.8 %																										
令和2年	1,217,891 円	51件	63.7 %																										
バナー広告の収入状況																													
期間	実績	協力社数																											
令和3年	215,000 円	19 社																											
令和2年	205,000 円	18 社																											
⑥ 日本赤十字社会費増強運動	<p>日本赤十字社の理解を促進した。</p> <p>① 啓発活動 新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を中止した。</p> <p>② 協力会員の募集 4月15日(木)の自治会長会で説明しご協力をお願いした。</p> <table border="1" data-bbox="411 1765 1069 1951"> <thead> <tr> <th colspan="3">募集状況</th> </tr> <tr> <th>期間</th> <th>実績</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>2,748,790 円</td> <td>101.9 %</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>2,696,224 円</td> <td>97.6 %</td> </tr> </tbody> </table>	募集状況			期間	実績	前年度比	令和3年	2,748,790 円	101.9 %	令和2年	2,696,224 円	97.6 %																
募集状況																													
期間	実績	前年度比																											
令和3年	2,748,790 円	101.9 %																											
令和2年	2,696,224 円	97.6 %																											

⑦ 安全衛生委員会	毎月1回、各部署の代表者が集まり、新型コロナウイルスによるクラスターを発生させないためのマニュアル作成や、感染に備えた職員の行動記録表を作成した。 その他、就業規則の変更やノー残業デイについて議論した。
-----------	--

### 地域福祉分野

⑧ 福祉のつどい	<p>(1)開催目的</p> <p>① 地域の支えあい活動を紹介し、地域福祉・支えあい活動をより身近に感じて活動の楽しさを実感していただく。</p> <p>② 各活動団体の状況を知り、より暮らしやすい地域を考える機会・きっかけにさせていただく。</p> <p>③ 各活動団体の目的を掲載することで、活動に対する意識向上につなげていただく。</p> <p>④ 町内の企業や団体等へ周知・啓発し、地域福祉活動に関心をもっていただく。</p> <p>(2)内容 東員町総合文化センター2階展示スペース、オレンジバス車内に各団体が手づくりした活動紹介の写真やチラシなどを掲示した。</p> <p>(3)出展団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東員町地域支えあい活動団体（15団体）</li> <li>・東員町地域ボランティア活動者（延べ77名）及び活動先の事業所又は団体（19事業所・団体）</li> </ul> <p>(注)地域支えあい活動団体 東員町内の自治会の範囲で、支えあい安心して暮らせるまちづくりを目的とする住民の主体的な活動団体。</p> <p>(4)掲示期間</p> <table data-bbox="432 1261 1276 1339"> <tr> <td>（総合文化センター）</td> <td>令和4年2月4日(金)～令和4年2月28日(月)</td> </tr> <tr> <td>（オレンジバス）</td> <td>令和4年2月5日(土)～令和4年2月27日(日)</td> </tr> </table> <p>(5)周知先 自治会、特別会員、シニアカレッジ受講生、シニアクラブ、民生委員児童委員、町会議員、子育て支援センター、町役場関係課、町内保育園・幼稚園・小学校・中学校、福祉系高校・専門学校・大学、町市民活動団体、町商工会会員、町内福祉事業所</p> <p>(6)観覧者数 延べ137名 ※芳名帳記載の観覧人数であり、記載のない方は人数に含んでいない。</p> <p>(7)観覧者からのメッセージ（全体へのメッセージより抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の御活躍有難うございます。町の健康寿命の伸びにも随分御協力されている事と存じます。</li> <li>・各地区のカフェさんそれぞれ頑張って御活躍の様子がよくわかり参考になりました。</li> <li>・どこの地区もよく頑張って素晴らしい活動と思います。もっともっと頑張ってください。</li> </ul>	（総合文化センター）	令和4年2月4日(金)～令和4年2月28日(月)	（オレンジバス）	令和4年2月5日(土)～令和4年2月27日(日)
（総合文化センター）	令和4年2月4日(金)～令和4年2月28日(月)				
（オレンジバス）	令和4年2月5日(土)～令和4年2月27日(日)				

⑨ 『ふくしのわ』の発行

地域福祉活動や社協事業などをわかりやすく伝え、地域福祉・支えあい活動を身近に感じられるよう記事を編集し、年2回発行した。

「ふくしのわ」発行状況		
発行日	内容	
5月7日	発行部数	8,400部
	表紙	東員町地域支えあい活動団体
	内容	会長挨拶、理事紹介、地域支えあいの取り組み、令和3年度事業計画・予算 社協戸別会費募集、日赤協力会員募集、共同募金委員会会長挨拶、赤い羽根 共同募金、令和2年度赤い羽根共同募金運動実績報告、第46期シニアカレッジ 受講生募集、第45期シニアカレッジ卒業式、地域包括支援センター、地域 ボランティア制度、備品貸出
10月1日	発行部数	8,700部
	表紙	中上地区見守り会議
	内容	会長挨拶、理事評議員紹介、令和3年度特別会費ご協力をお願い 令和2年度事業報告・決算、社協戸別会費実績報告、戸別会費の取組内容、 日赤実績報告、共同募金会長挨拶、赤い羽根共同募金自動販売機設置のお願い 赤い羽根共同募金ご協力をお願い、東員町共同募金事業の紹介、赤い羽根共同 募金羽毛製品回収、地域ボランティア制度

- ・ 全自治会に各戸配布のご協力をいただいた。
- ・ 配架場所（役場、保健福祉センター、総合文化センター、笹尾連絡所、笹尾コミュニティーセンター）

⑩ ホームページの運営

多くの方に町内の地域福祉活動や社協の取り組みをご理解いただけるよう、写真を多く取り入れ、わかりやすく記事を掲載した。

ホームページ掲出・ページビュー状況			
期間	掲載記事数	ページビュー数	昨年度比
4月	19	4,430	93.0%
5月	9	3,890	77.8%
6月	11	3,623	74.9%
7月	30	4,400	81.6%
8月	16	3,774	76.2%
9月	25	5,365	125.8%
10月	23	3,976	62.5%
11月	27	4,788	72.0%
12月	25	3,578	74.9%
1月	14	3,529	47.4%
2月	8	4,118	108.7%
3月	24	3,916	84.5%
合計	231	49,387	79%

- ・ Facebookアクセス件数 11,256件

<p>⑪ 民生委員児童委員協議会との協働</p>	<p>民生委員児童委員協議会の事務局として、活動支援や他機関との連絡調整並びに一般事務と会計業務を担った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員会(4/7、8/4、12/1、3/16)、定例会(4/21、8/18、12/21)、臨時会長副会長会(9/9)の開催事務</li> <li>・ 花鉢配布事業、高齢者実態把握事業、PR活動、引きこもり調査、生活困窮者向け食糧提供など民生委員児童委員活動の支援</li> <li>・ 地区ブロック別の活動、分野別活動を支援した。</li> </ul>																																
<p>⑫ 地域支えあい推進事業</p>	<p>社協主催の自治会長会を2回開催する予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、町主催自治会長会に出席させていただいた。</p> <p>① 4月15日(木) 社協戸別会費と日赤協力会費の募集の協力をお願いし、小地域福祉活動助成事業について説明した。</p> <p>② 8月19日(木) 社協戸別会費と日赤協力会費に対するご協力にお礼を申し上げ、実績を報告した。また、共同募金を財源にしている事業を説明し、赤い羽根共同募金の戸別募金と社協特別会費募集への協力をお願いした。</p>																																
<p>⑬ 地域福祉座談会</p>	<p>東員町にお住まいの方が「東員町に住んでよかった」と思える町になるよう、住民主体による地域福祉活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全自治会の約78%・18地区で実施され、支援した。(前年度：18地区)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="411 1025 1377 1944"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th colspan="2">名称と内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">筑紫</td> <td colspan="2">(名称) 筑紫地区地域福祉座談会</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※今年度実施なし。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">穴太</td> <td colspan="2">(名称) 穴太福祉座談会</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5回</td> <td>見守り活動、穴太シニアお茶会について など ⇒ 見守り記録表以外の方についても確認・共有</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">瀬古泉</td> <td colspan="2">(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6回</td> <td>各団体の活動状況、瀬古泉カフェ、NSサポートファミリー、三世代グラウンドゴルフ大会、ラジオ体操、瀬古泉ニュース など ⇒ 令和3年4月に「NSサポートファミリー」を東員町地域支えあい活動団体に登録 「瀬古泉カフェ」「NSサポートファミリー」を地域ボランティア活動先に登録</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">山田</td> <td colspan="2">(名称) 山田地区地域福祉座談会</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6回</td> <td>「やまだ家」の活動計画や活動の成果 など ⇒ 「やまだ家」を地域ボランティア活動先に登録</td> </tr> </tbody> </table>	地区名	名称と内容		筑紫	(名称) 筑紫地区地域福祉座談会		※今年度実施なし。		穴太	(名称) 穴太福祉座談会		実施	内容		5回	見守り活動、穴太シニアお茶会について など ⇒ 見守り記録表以外の方についても確認・共有	瀬古泉	(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会		実施	内容		6回	各団体の活動状況、瀬古泉カフェ、NSサポートファミリー、三世代グラウンドゴルフ大会、ラジオ体操、瀬古泉ニュース など ⇒ 令和3年4月に「NSサポートファミリー」を東員町地域支えあい活動団体に登録 「瀬古泉カフェ」「NSサポートファミリー」を地域ボランティア活動先に登録	山田	(名称) 山田地区地域福祉座談会		実施	内容		6回	「やまだ家」の活動計画や活動の成果 など ⇒ 「やまだ家」を地域ボランティア活動先に登録
地区名	名称と内容																																
筑紫	(名称) 筑紫地区地域福祉座談会																																
	※今年度実施なし。																																
穴太	(名称) 穴太福祉座談会																																
	実施	内容																															
	5回	見守り活動、穴太シニアお茶会について など ⇒ 見守り記録表以外の方についても確認・共有																															
瀬古泉	(名称) 瀬古泉の暮らしを考える会																																
	実施	内容																															
	6回	各団体の活動状況、瀬古泉カフェ、NSサポートファミリー、三世代グラウンドゴルフ大会、ラジオ体操、瀬古泉ニュース など ⇒ 令和3年4月に「NSサポートファミリー」を東員町地域支えあい活動団体に登録 「瀬古泉カフェ」「NSサポートファミリー」を地域ボランティア活動先に登録																															
山田	(名称) 山田地区地域福祉座談会																																
	実施	内容																															
	6回	「やまだ家」の活動計画や活動の成果 など ⇒ 「やまだ家」を地域ボランティア活動先に登録																															

地域福祉座談会

鳥取	(名称) 鳥取地域づくり座談会	
	実施	内容
	1回	地域づくり座談会、鳥取史跡めぐり など ⇒ 鳥取史跡めぐりを令和4年5月14日に実施。
八幡新田	(名称) 八幡新田見守りネットワーク座談会	
	実施	内容
	1回	見守り情報の共有、やはたおでかけサポート など
大木	(名称) 大木地区地域福祉委員会	
	実施	内容
	3回	地域福祉委員会、大木カフェ、粗大ゴミ運搬のお手伝いについて など ⇒ 令和4年5月から大木カフェ開催時間を変更
南大社	(名称) 南大社地区地域福祉座談会 ※今年度実施なし。	
長深	(名称) 長深地区地域福祉座談会 ※今年度実施なし。	
中上	(名称) 中上地区見守り会議	
	実施	内容
	11回	地域の気になる方の見守り報告、各団体の活動報告、外出サポート活動、にゃんにゃんの家、グラウンドゴルフ など
笹尾西1丁目	(名称) 笹尾西1丁目地域福祉座談会 ※今年度実施なし。	
笹尾西4丁目	(名称) 笹尾西4丁目地区地域福祉座談会 ※今年度実施なし。	
笹尾東1丁目	(名称) 笹尾東1丁目地域福祉座談会	
	実施	内容
	3回	買い物サポート活動、子どもたちとのふれあい活動、図書貸出サポート活動(仮) など ⇒ 令和4年3月に「笹尾東一丁目地域づくり推進プロジェクト」を東員町地域支えあい活動団体に登録令和4年から「お出かけ(買い物)サポート活動」を実施予定
笹尾東2丁目	(名称) 笹尾東2丁目地区地域福祉座談会	
	実施	内容
	2回	地域福祉座談会、資源ごみ回収による地域活動について



地域福祉座談会

笹尾東4丁目	(名称) 笹尾東4丁目地区見守り会議
	実施 内容
8回	地域の中で気になる人・気になること、見守り会議、ラジオ体操、見守り水道検針隊、おでかけサポート、各団体の活動状況 など ⇒ 令和3年6月より「東4丁目おでかけサポート」を開始
城山1丁目	(名称) 城山1丁目地区座談会
	※今年度実施なし。
城山2丁目	(名称) 城山2丁目地区座談会
	※今年度実施なし。
城山3丁目	(名称) 城山3丁目地区座談会
	※今年度実施なし。

⑭ 生活支援体制整備事業

(1) 地域支えあいの深化

- ① 地域福祉（だれもが普段の暮らしで幸せを感じられるように、地域の人と人がお互いに助けたり助けられたりできるようにする福祉）の推進を図ることを目的として、地域福祉活動へ出向き、地域の支えあいがより深化するよう関わった。
  - ⇒ 東員町地域支えあい活動団体（17団体）
  - 町内の地域福祉活動団体（8団体）
  - ・ カフェ活動や生活支援活動から自然発生的な支えあいが醸成されるように意識して働きかけた。
  - ・ 地域活動には様々な参加の仕方があるため、「誰かのためにできることをする」ことが支えあいであることを、地域福祉座談会や地域活動に関わる中で伝えた。
  - ・ 一見福祉と関係がないような様々な活動に福祉的な視点を加えると安心して暮らせる地域づくりになることを伝えた。
- ② 新たに地域福祉活動を立ち上げようとしている取り組みを支援した。
  - ・ 笹尾東4丁目地区：中上地区・八幡新田地区の外出サポート活動に関する情報の提供  
⇒ 令和3年6月より「東4丁目おでかけサポート」を開始
  - ・ 笹尾東1丁目地区：中上・八幡新田・瀬古泉・笹尾東4丁目地区の外出サポート活動の情報提供  
⇒ 令和4年4月より「お出かけサポート活動」を開始予定
- ③ 地域福祉活動がより意識化され、推進されるよう「東員町地域介護予防活動団体」に登録通知及び登録団体一覧、ステッカーを配布した。
- ④ とういん市民活動支援センターへの働きかけ
  - ・ 地域活動の情報を共有し、意見交換した。
- ⑤ 子育て支援機関への働きかけ
  - ・ 教育資金にお困りの方が早めに相談できるよう、町内の中学校やスクールソーシャルワーカーを対象に資金貸付制度などの支援策の説明会を催した。
  - ・ 「東員町子ども・子育て会議」に出席し、地域福祉の視点から意見を述べた。

生活支援体制  
整備事業



- ⑥ 専門職への働きかけ
  - ・地域包括支援センターと定例会を開催し、地域の現状を情報共有した。
  - ・主任ケアマネジャーに町内の地域福祉活動について情報提供した。
  - ・地域ケア会議に出席し、地域福祉の視点から助言や情報提供を行った。
- ⑦ 企業等への働きかけ
  - ・中京銀行の高齢者疑似体験セットを活用した職員研修に出向き、配慮すべきことなどを一緒に検討、高齢者へのよりよい対応の参考にしていただいた。
- ⑧ 行政への働きかけ
  - ・政策課地域コミュニティ応援プロジェクトチームと情報を共有し、地域の支えあいにより深化するよう意見交換した。
  - ・健康長寿課との定例会を開催し、地域の現状を情報共有するとともに、令和4年度以降の生活支援体制整備事業、地域ボランティア制度、活動団体の登録や支援のあり方を協議した。
  - ・健康長寿課主管「民間事業者と連携した住民に対するアウトリーチ型行政サービス情報提供の実施に伴う意見交換」、三重県子ども・福祉部地域福祉課主管「相談支援包括化推進員等養成事業地域別会議」に出席し、地域福祉の視点から意見を述べた。

(2)東員町地域支えあい活動団体の周知・啓発、ネットワークづくり

- ① 地域支えあい活動団体への登録
  - ・瀬古泉地区「NSサポートファミリー」が新たに団体登録。  
※令和3年度末現在で登録団体は17団体
- ② 地域支えあい活動登録団体への支援
  - ・登録団体が安心して活動できるよう「桑名保健所からの食中毒予防に関する資料」、「三重県食品提供システム」について情報提供した。
- ③ 地域支えあい活動団体の紹介・広報活動

町内の支えあい活動取材して、社協HP、Facebook、広報紙で紹介した。

⇒ 東員町地域支えあい活動団体（17団体）  
町内の地域福祉活動団体（8団体）  
取材件数：のべ91回
- ④ 支えあい活動の実践発表
  - ・東員町シニアクラブ連合会の視察研修（愛知県阿久比町）で、「八幡新田見守りネットワーク」が実践発表
  - ・東員町シニアカレッジで、城山3丁目地区の「3丁目さくらカフェ」が実践発表
  - ・東員町福祉のつどいで、登録団体のうち15団体が地域福祉活動展として実践発表

<p>⑮ 活動支援</p> 	<p>住民相互の助けあい・支えあいの活動がより推進されるよう、地域福祉の向上につながる活動や団体を支援した。</p> <p>(1)地域福祉活動助成事業</p> <p>地域福祉座談会を通じて生まれた活動等に要する経費の一部を助成した。</p> <p>① 山田自治会 100,000円 事業名：やまだ家(カフェに使用する備品)</p> <p>② 南大社自治会 50,000円 事業名：カフェみなみ(カフェに使用する備品)</p> <p>③ 笹尾東4丁目自治会 100,000円 事業名：東4丁目おでかけサポート(おでかけサポートに使用する備品)</p> <p>④ 笹尾東2丁目自治会 50,000円 事業名：資源ゴミ回収による地域活動(活動に使用する軽トラ整備費用)</p> <p>(2)小地域福祉活動助成事業</p> <p>だれもが地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進する自治会活動に対して助成した。</p> <p>22自治会 445,000円</p> <p>(3)ボランティア活動保険の加入推奨</p> <p>安心して活動するため、ボランティア活動保険の加入を勧めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動保険加入実績</li> </ul> <table border="1" data-bbox="488 1021 954 1117"> <tr> <td>令和3年</td> <td>580件</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>612件</td> </tr> </table>	令和3年	580件	令和2年	612件								
令和3年	580件												
令和2年	612件												
<p>⑯ 生活支援型配食サービス</p>	<p>ひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に、栄養バランスのある昼食を提供することにより、生活の改善、健康保持、安否確認を目的に実施した。</p> <p>(1)配食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託先/社会福祉法人いずみ</li> <li>・ 利用日 月曜日から金曜日の中で希望する日</li> <li>・ 個人負担金 300円/食(減額対象者2名 150円/食)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="413 1440 1184 1599"> <caption>生活支援型配食サービス利用状況</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>利用食数</th> <th>登録者数</th> <th>利用実人数1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>3,061食</td> <td>27名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>2,675食</td> <td>16名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)安否確認</p> <p>配達時に留守で安否確認した件数 3件 そのうち、家族・ケアマネジャー・民生委員に連絡した件数 2件</p> <p>緊急時の対応を社会福祉法人いずみと協議し、伝達ルートなどの体制を改善した。</p>	期間	利用食数	登録者数	利用実人数1日平均	令和3年	3,061食	27名	13名	令和2年	2,675食	16名	11名
期間	利用食数	登録者数	利用実人数1日平均										
令和3年	3,061食	27名	13名										
令和2年	2,675食	16名	11名										
<p>⑰ ふれあい型配食サービス</p> 	<p>ひとり暮らし高齢者等に、昼食を提供することにより、健康で自立した生活を送ること、ふれあいをもつことを目的に実施した。</p> <p>(1)配食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託先</li> </ul>												

ふれあい型配  
食サービス



火曜日 偶数月 就労継続支援A型ピュア(調理)  
奇数月 まんまやひなた(調理)  
社協臨時職員(配達)

金曜日 わくわくボランティア(調理・配達)

- ・ 利用日 火曜日と金曜日の希望する日
- ・ 個人負担金 300円/食

ふれあい型配食サービス利用状況			
期間	利用食数	登録者数	利用実人数1日平均
令和3年	2,764食	57名	28名
令和2年	2,215食	36名	23名

(2)安否確認

配達時に留守で安否確認した件数 52件  
そのうち、家族・ケアマネジャー・民生委員に連絡した件数 17件

(3)食中毒講習会

日 時 令和3年7月16日(金)  
内 容 食中毒予防講習会  
講 師 桑名保健所  
参 加 者 12名

⑱ シニアカレッジ

地域福祉に関心を持ってもらい、卒業後、地域福祉活動のリーダーになっていただけるように取り組んだ。

開催日 月1回(6月～3月)  
会 場 ふれあいセンター等  
修了生 16名  
内 容 東員町の現状(東員町長)、東員町の歴史(猪名部神社宮司)、  
議会の仕組み(議長)など

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10/7修学旅行は中止した。

<受講生からの感想(抜粋)>

- ・ 「東員町の色々なことが少しわかるようになりました。」
- ・ 「今後、自治会等で協力していこうと思います。」
- ・ 「他の地域の方との交流の輪も広がりました。」
- ・ 「勉強させて頂いたことを何かの機会に活かしていけたらと思います。」

⑲ 地域ボランティア

地域ボランティア制度への登録をきっかけに地域福祉に目を向けてくださるよう、登録説明会では地域福祉に関して意見交換する時間を設けた。

① 登録状況/登録者合計161名・活動先34ヵ所

活動先：介護付有料老人ホームあおい、ナニグホームもも、特別養護老人ホームパークデンス、東員町デイサービスセンターふれあい

ショートステイグループホームとういん、笹尾デイサービスセンターみんなの家、就労継続支援A型事業所シグマホームとういん

とういんデイサービスセンター、とういんシェアハウス、宅老所紫苑・第2紫苑、第3紫苑、第3サテライトMen's

各地区支えあい活動団体6団体

各保・幼稚園6園、各小学校6校、各中学校2校、教育委員会、社会福祉協議会

地域ボランティア

地域ボランティア活動状況		
期間	登録者数合計	活動先合計
令和3年	161名	34ヵ所
令和2年	129名	26ヵ所

- ② 傾聴ボランティアに限り個人宅で活動  
活動者登録：5名 訪問先：4軒
- ③ 広報状況  
ふくしのわ・ホームページ・Facebookに記事を掲載した。
- ④ 地域ボランティア制度について行政との打ち合わせ 2回
- ⑤ 登録希望者説明会の開催(11回)※その内個別対応 10回
- ⑥ 登録者と活動先とのマッチング 7回
- ⑦ 登録者対象の講座開催（講師は地域ボランティア登録者）  
・PC講座・・・開催回数：3回、参加者：のべ12名  
・傾聴講座・・・新型コロナ感染拡大状況等から、令和4年度に延期
- ⑧ ポイント交換率 84.3%  
89名/令和3年度活動者数、75名/ポイント交換手続き者数  
※ポイント交換されなかった方の内訳  
スタンプ10個未満…10名、スタンプもらわず活動…1名  
令和3年度中死亡…2名、家庭都合…1名


⑳ 心配ごと相談  
無料弁護士相談


弁護士・一般相談員(有資格者・学識経験者・元民生委員)が相談に応じた。  
法律的な相談に対しては、弁護士が助言したり専門機関を紹介した。  
・毎月5日(土・日・祝の場合は翌日)及び第3日曜日  
※9月19日は緊急事態宣言発令中のため中止

心配ごと相談開催状況		
期間	開催回数	相談件数
令和3年度	21回	80件（弁護士72件）
令和2年度	24回	58件（弁護士54件）

㉑ 当事者団体の  
育成支援



- ① 東員障がい児・者友の会  
助成金の交付、各種事業の開催支援、広報活動の支援等
- ② 東員町障がい児(者)親の会…助成金の交付
- ③ 東員町遺族会  
助成金の交付、行政との連絡調整等、県戦没者追悼式の参加支援  
※町戦没者追悼式は新型コロナ感染拡大状況等により中止
- ④ いなべ地区視覚障がい者協会…助成金の交付
- ⑤ いなべ市聴覚障がい者福祉協会東員支部…助成金の交付
- ⑥ 東員町シニアクラブ連合会  
理事会・企画委員会への参加、各種事業の開催・広報活動の支援
- ⑦ 東員町福祉事業所連絡協議会  
行政との連絡調整等、団体運営・企画実施にかかる支援  
事業所職員の新型コロナワクチン優先接種調整
- ⑧ 東員町母子寡婦福祉会…広報活動の支援等

<p>② 子育て支援事業</p> 	<p>東員町子育て支援ネット、東員町子育て支援センター等と協働し、様々な世代が地域で子育てを支援することで、子育て世代が子育てを楽しみ、支援者は自身の生きがいがづくりにつながるようにサポートした。</p> <p>(1)東員町子育て支援ネットとの協働</p> <p>① 定例会への参加 6回 定例会に出席し、ボランティア自身が子育てボランティアに意欲的に取り組めるよう支援した。 テーマ：防災講座、東員町子育て支援センターでの託児ボランティア など</p> <p>② 活動の周知及び啓発 随時HP及びFacebookで活動状況を発信した。</p> <p>③ 子育て世代に対する防災意識の向上と防災対策の推進 災害に備えるため、東員町消防団、東員町環境防災課と協働して「かぞくの防災講座」を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大状況等から次年度に延期した。</p> <p>(2)東員町子育て支援センターとの協働 センターが主催するイベント、ワークショップ、育児相談 など参加し、東員町子育て支援ネットのメンバーと協働して活動に取り組んだ。</p> <p>参加回数 9回 参加したボランティアの延べ人数 35名</p>
<p>③ 災害対策事業</p>	<p>(1)とういん災害ささえあい委員会の事務局 「災害時も平時も住民同士で支えあえるまち・とういん」を目指して、事務局を運営した。</p> <p>① 定例会（ささえあい委員会）の開催 7回 ⇒成果：住宅防火の啓発方法を協議した結果、桑名市消防本部予防課とカフェ活動に出向いて活動した。 ささえあい委員会の目的や意義をより明確にした。 ⇒ 社協が取り組むべき災害時の方策について広く意見を求め、社協事業に反映させることを目的とした諮問機関「とういん災害ささえあい推進委員会」へ、令和4年度より移行する。</p> <p>② 災害義援金への協力 令和3年7月1日からの大雨災害義援金に日赤と共に協力した。</p> <p>(2) 災害時における町域・桑員ブロックの運営体制の整備</p> <p>① 町域における体制整備 「東員町災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」、「東員町災害時受援計画第4章」を踏まえ、役場環境防災課と随時意見交換を行い、災害時における運営体制について検討した。</p> <p>② 桑員ブロックにおける体制整備 ・桑員ブロックの災害時応援体制を構築をするため「桑員ブロックに社協災害時広域連携協議会」を桑名市、いなべ市、木曾岬町と創設した。 (令和3年度ブロック幹事社協は東員町)</p>

災害対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑員地区の地域性に合う相互応援体制を構築するため社協職員、関係行政職員、県社協担当職員と研修会を実施した。</li> <li>・ 県内統一のツールや相互応援体制の導入の必要性を県社協へ提言するため、合同ミーティング及び訓練を実施した。</li> </ul>
⑭ 共同募金委員会の活動支援 	<p>東員町共同募金委員会の事務局を担い「地域福祉を推進するための募金」として共同募金運動を推進した。</p> <p>① 運営委員会（6/11、3/25）の開催事務          （9/24は緊急事態宣言中であったので、募金運動について書面で意見を求めた。）</p> <p>② 『ふくしのわ』（10/1発行）やホームページで運動情報を発信した。</p> <p>③ 商工会理事会、校長会、園長会に出向いて説明し、ご協力を依頼した。</p> <p>④ 8月20日(木)自治会長会で説明させていただき、全自治会様にご協力いただいた。</p> <p>⑤ 啓発ポスター、チラシを町内各所へ配架・掲示した。</p> <p>⑥ 新規自動販売機の設置に協力し、8台増設した。県内モデル事業として自動販売機設置事業などを報告した。</p> <p>⑦ 町内の商店法人企業を訪問してご協力を依頼した。</p> <p>・ 実績総額4,000,169円 目標額4,269,300円 達成率93.7%</p>

### 利用支援分野

⑮ 福祉有償運送	要介護認定を受けている方等、公共交通機関を利用できない方をヘルパーが運転する車両で通院の支援をした。現在は、15名の方が定期的に利用されており、利用者は増加している。												
福祉有償運送車両別利用状況 (単位：回)													
令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽乗用車	0	11	10	4	8	6	9	2	4	6	2	5	67
福祉車両（スロープ）	24	29	26	22	24	24	27	28	26	26	32	19	307
福祉車両（リフト）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	40	36	26	32	30	36	30	30	32	34	24	374
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
軽乗用車	6	6	4	4	4	7	2	6	10	6	0	6	61
福祉車両（スロープ）	8	14	8	22	22	19	21	18	28	24	20	24	228
福祉車両（リフト）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	20	12	26	26	26	23	24	38	30	20	30	289

<p>②⑥ 介護タクシー 助成事業</p> 	<p>要支援1・2 要介護1・2に認定された方に介護タクシー券を発行して、在宅高齢者の外出を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成額 2,680円/年</li> </ul> <table border="1" data-bbox="411 280 1145 421"> <thead> <tr> <th colspan="3">介護タクシー助成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>45名申請・交付</td> <td>23名・のべ59回利用</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>31名申請・交付</td> <td>12名・のべ17回利用</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協力事業所 8事業所（1事業所は中止中）</li> </ul>	介護タクシー助成状況			令和3年	45名申請・交付	23名・のべ59回利用	令和2年	31名申請・交付	12名・のべ17回利用																																																											
介護タクシー助成状況																																																																					
令和3年	45名申請・交付	23名・のべ59回利用																																																																			
令和2年	31名申請・交付	12名・のべ17回利用																																																																			
<p>②⑦ 日常生活自立 支援事業</p>	<p>契約した利用者の日常金銭管理、日常的な困りごとの相談等を生活支援員と共に行った。金銭管理を通して日常的に本人と関わり、本人の心配ごとを傾聴したり、本人が安心できるように他機関に連絡・調整した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者 7名 （新規契約者：1名 解約者：1名）※転居により解約</li> <li>・ 生活支援員 5名（男性2名 女性3名）</li> <li>・ 相談対応回数(日常的な困りごとの相談,関係機関との連絡,契約までの調整等)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="411 790 799 884"> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>656回</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>316回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的金銭管理、日常の見守りの支援回数(日常生活の出金,公共料金の支払い等)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="411 929 1184 1023"> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>185回（支援員140回、専門員45回）</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>130回（支援員104回、専門員26回）</td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者の引っ越しに係る相談、準備をお手伝いをした 1回</p>	令和3年	656回	令和2年	316回	令和3年	185回（支援員140回、専門員45回）	令和2年	130回（支援員104回、専門員26回）																																																												
令和3年	656回																																																																				
令和2年	316回																																																																				
令和3年	185回（支援員140回、専門員45回）																																																																				
令和2年	130回（支援員104回、専門員26回）																																																																				
<p>②⑧ 日常的金銭管理 サービス事業</p>	<p>判断能力のある概ね65歳以上の高齢者や20歳以上の身体障がい者等を対象に金融機関の手続きを代行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的金銭管理サービス利用者 1名</li> </ul> <table border="1" data-bbox="411 1205 799 1299"> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業への問い合わせ 0件</li> <li>・ 利用希望の相談件数 0件</li> </ul>	令和3年	8回	令和2年	8回																																																																
令和3年	8回																																																																				
令和2年	8回																																																																				
<p>②⑨ 福祉用具の貸出</p> 	<p>短期間あるいは緊急に車いす等が必要な方に無料で貸し出した。また、そこで得た情報を民生委員に提供し、地域の福祉支援に役立てた。</p> <table border="1" data-bbox="411 1478 1107 1664"> <thead> <tr> <th colspan="4">福祉用具の貸出状況</th> <th colspan="3">(単位：件)</th> </tr> <tr> <th>期間</th> <th>車いす</th> <th>スロープ</th> <th>シャワーチェア</th> <th colspan="3"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>163</td> <td>12</td> <td>17</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>106</td> <td>17</td> <td>9</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="411 1709 1184 1895"> <thead> <tr> <th colspan="8">貸出理由</th> <th colspan="2">(複数回答可 単位：件)</th> </tr> <tr> <th>期間</th> <th>通院</th> <th>一時退院</th> <th>通学</th> <th>旅行</th> <th>買い物</th> <th>日帰り</th> <th>その他</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>85</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>42</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>17</td> <td>3</td> <td></td> <td>2</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>19</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他理由…日常生活、試用など</p>	福祉用具の貸出状況				(単位：件)			期間	車いす	スロープ	シャワーチェア				令和3年	163	12	17				令和2年	106	17	9				貸出理由								(複数回答可 単位：件)		期間	通院	一時退院	通学	旅行	買い物	日帰り	その他			令和3年	85	9	2	7	30	20	42			令和2年	17	3		2	7	5	19		
福祉用具の貸出状況				(単位：件)																																																																	
期間	車いす	スロープ	シャワーチェア																																																																		
令和3年	163	12	17																																																																		
令和2年	106	17	9																																																																		
貸出理由								(複数回答可 単位：件)																																																													
期間	通院	一時退院	通学	旅行	買い物	日帰り	その他																																																														
令和3年	85	9	2	7	30	20	42																																																														
令和2年	17	3		2	7	5	19																																																														



⑩ 公的資金貸付事業

(1)生活福祉資金、町臨時つなぎ資金の貸付相談

生活費などの相談に対応し、公的貸付資金の申請、償還支援等を行った。

① 相談件数	84件（実人数 10人） （前年：131件 / 実人数 16人）
② 調査委員会	3件 ※教育支援資金（支援費・支度費） 1件 教育支援資金（支援費） 1件 教育支援資金（支度費） 1件
③ 貸付決定	5件 ※教育支援資金（支援費・支度費） 1件 教育支援資金（支援費） 1件 教育支援資金（支度費） 1件 町臨時つなぎ資金 2件
④ 完済	2件 ※町臨時つなぎ資金 2件
⑤ 滞納者面談	0件
⑥ 貸付状況	福祉費 1件 緊急小口資金 7件 教育支援資金（教育支援費） 6件 教育支援資金（就学支度費） 10件 総合支援資金 1件

(2)新型コロナ特例貸付の相談対応

新型コロナ感染拡大による影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮している方の相談に応じ、貸付申請等を行った。

① 相談件数	331件（実人数 42人） （前年：498件 / 実人数 86人）
② 申請件数	47件（合計 25,450,000円） 貸付決定：35件（合計20,450,000円） 貸付不承認：12件（合計5,000,000円） ※前年：126件（合計 50,350,000円） 貸付決定：117件（合計46,300,000円） 貸付不承認：9件（合計4,050,000円） * 特例小口 20件（前年：55件） * 特例総合 10件（前年：54件） * 特例総合（延長） 3件（前年：14件） * 特例総合（再貸付） 14件（前年：3件）
③ 償還件数	※償還実績なし （特例貸付の償還は令和5年1月より開始）

③ 生活困窮者自立相談支援事業



(1)生活困窮者自立相談支援事業

三重県生活相談支援センター相談支援員（三重県社協）や町地域福祉課と連携し、年金等各種給付の受給手続きや就労、医療機関の受診、進学への助言、制度利用の提案などの対応をした。

相談の種類と件数	
相談の種類	件数
① 生活・家計の相談	583件（実人数 68人） （前年：802件 / 実人数 114人）
② 家計改善支援事業	0名（0回）（前年：0名・0回）
③ 緊急食糧提供事業	16名（17回）（前年：10名・11回）
④ 緊急物品等支援事業	3名（3回）（前年：1名・1回）
⑤ 賃貸住宅入居保証事業	0名（0回）（前年：1名・1回）

(2)東員町生活困窮者自立支援食糧提供事業

赤い羽根共同募金を財源に、生活困窮世帯に緊急的に食糧を提供した。

生活維持及び再建に向けた相談支援のきっかけ、見 ① 守りを目的にした社会福祉法人いずみのお弁当とパ ンの利用券	利用0人 （前年：4人）
当日、翌日の食事に困っている家庭に提供できるよ ② う、そのまま食べられるおにぎり（5年保存可能） を備蓄し、お困りの方に提供・生活再建のきっかけ	利用7人 （前年：9人）

(3)法外援護による支援

現行の援護制度の対象にならないが、緊急一時的に命に関わる困窮状態である方に上限1000円を貸し出した。

これを機に就労に向けて助言をしたり他の制度に結び、生活再建を支援した。

法外援護の利用状況	
利用された方	利用者数
町内在住	0名（前年：2名）
町外在住	2名（前年：0名）

(4)生活困窮者対応用備品、備蓄食料の配備及び活用

炊飯器や電子レンジ、カセットコンロなどの備品や、備蓄食糧を配備・活用してまず食事に関する部分に安心していただき、生活再建のきっかけとした。	活用：17人 （前年：3人）
---	-------------------

(5)新型コロナウイルスに関する対応

通常とは別に備蓄食料を配備し、新型コロナ特例貸付と並行して活用した。	活用：4人（前年：5人）
------------------------------------	--------------

介護保険サービス・障がい者福祉サービス分野

- ③② 訪問介護
- ① 新規の依頼が続き、利用者数、訪問回数が増加した。
  - ② 8月から登録ヘルパーが2名増員になり、利用者を受け入れる体制が安定した。
  - ③ 大雪の日はスコップを車に積んで訪問し、雪かきをしながら支援に向かった。
  - ④ 定期的にコロナ感染対策の研修を実施し、職員の意識を高めた。

請求額状況 (単位：千円)													
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	2,366	2,289	2,463	2,504	2,452	2,555	2,636	2,637	2,437	2,216	2,250	2,557	29,362
令和2年度	1,770	1,726	1,663	1,780	1,815	1,775	1,849	2,129	2,321	1,975	1,821	2,205	22,829

介護度別利用者人数 (単位：人)														
介護度分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R2年度 合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	4	3	4	2	4	4	4	4	7	12	12	10	70	44
要介護1	94	102	109	102	128	139	135	111	101	87	76	96	1,280	290
要介護2	170	160	188	224	174	180	192	203	206	178	187	211	2,273	840
要介護3	103	100	109	110	88	78	118	108	97	73	84	93	1,161	547
要介護4	53	56	51	45	67	88	94	99	83	96	103	117	952	323
要介護5	125	127	133	127	124	124	125	139	126	123	117	127	1,517	588
合計	549	548	594	610	585	613	668	664	620	569	579	654	7,253	
令和2年度	439	431	411	436	453	453	443	497	550	467	438	531		5,549

- ③③ 障がい児者訪問介護
- ① 新規利用者は2名であった。利用者の年齢が若く、10年以上の長期の支援が予想されるため、より利用者の理解を進め、相談支援専門員と何度も同行訪問して援助内容を決定した。
  - ② 利用者に変化が見られたときは、相談支援員と綿密に連絡をとった。利用者の主介護者が母親であるケースが数件ある。母親の思いに寄り添い、ヘルパーの利用によって利用者、介護者が在宅で過ごしやすくなるよう援助した。
  - ③ 定期的にコロナ感染対策の研修を実施し、職員の意識を高めた。

請求額状況 (単位：千円)													
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	1,780	1,787	1,828	1,827	1,783	1,775	1,739	1,753	1,800	1,734	1,578	1,695	21,079
令和2年度	1,527	1,577	1,771	1,913	1,659	1,773	1,802	1,706	1,807	1,706	1,659	1,804	20,704

障がいサービス別総人数 (単位：人)														
支援項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R2年度 合計
身体介護	337	339	340	335	325	332	322	326	335	321	298	313	3,923	1,554
家事援助	134	130	114	134	127	132	136	128	128	130	123	122	1,538	650
合計	471	469	454	469	452	464	458	454	451	451	421	435	5,449	
令和2年度	342	340	381	409	349	383	402	338	392	380	357	395		4,468

- ③④ 通所介護
- ① 各テーブルにアクリル板を設置し飛沫感染を予防した。職員はアルコールボトルを携帯して1介助ごとに手指を消毒した。
  - ② 年式の古い車両を更新し、安全かつ効率よく送迎業務ができるようになった。
  - ③ 職員からコロナウイルス陽性者が出たため、デイサービスを3日間停止した。感染は広がっておらず、活動場所を消毒した後に再開した。
  - ④ 徘徊のある利用者が安全にサービスを利用できるよう、同行する職員を決めて対応した。徘徊センサーを増設した。
  - ⑤ 虐待防止、感染症対策、ハラスメント防止の指針を作成した。
  - ⑥ 緊急事態宣言中は密を避けるため、リハビリスペースを会議室1に移動し、広々としたスペースで運動メニューを提供した。好評だった。
  - ⑦ チェアー浴を1台増設して、それまで一般浴で対応していた歩行しにくい方に安全安心な入浴を提供した。好評だった。
  - ⑧ 新規利用者に、当デイサービスを選んだ理由や期待することをアンケートで尋ねた。選んでいただいた際の紹介経路は知人やケアマネジャーが多く、期待することは運動機器を使った心身機能の維持向上が多かった。中には、ご自身がイベントに参加したときから利用するならふれあいと決めていた、というコメントがあった。
  - ⑨ 事務員を2名配置することで、介護以外の事務業務を介護士から軽減させ、よりていねいに利用者に関われるようにした。

請求額状況 (単位：千円)													
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	8,414	8,290	9,055	9,031	8,085	8,470	8,365	8,141	8,460	7,328	5,333	6,964	95,936
令和2年度	8,594	8,152	8,297	9,602	8,662	8,828	9,613	8,816	8,872	7,494	7,588	8,765	103,283

介護度別利用者状況 (単位：人)														
介護度区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R2年度 合計
事業対象者	0	4	4	4	4	4	4	4	7	21	7	16	79	94
要支援1	8	8	35	2	0	0	0	0	0	0	0	0	53	144
要支援2	41	36	4	27	13	15	11	16	16	13	13	12	217	550
要介護1	183	168	195	219	221	201	198	195	177	218	175	180	2,330	2,696
要介護2	225	233	242	210	222	250	276	267	272	225	199	299	2,920	2,900
要介護3	142	137	172	179	170	170	162	119	114	111	91	119	1,686	1,682
要介護4	144	152	157	162	124	116	106	124	118	103	110	116	1,532	1,249
要介護5	40	43	47	38	26	30	32	36	33	23	21	27	396	541
合計	783	781	856	841	780	786	789	761	737	714	616	769	9,213	
令和2年度	838	804	807	878	810	835	896	823	824	706	705	836		9,856

(注)事業対象者とは、基本チェックリストの結果、心身機能の衰えによる生活機能の低下がみられると町が判定した方

- ③⑤ 日中一時支援
- ① 手指消毒、機材消毒等を徹底し感染を予防した。
  - ② 基本は自宅⇒自宅を送迎するが、家族からの要望に応じて施設⇒自宅や施設⇒施設の送迎をするなど、臨機応変に対応して家族の介護軽減に努めた。

日中一時支援利用者状況 (単位：人)													
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	10	15	12	14	13	13	11	11	15	15	12	16	157
令和2年度	11	14	13	13	17	13	12	13	13	14	12	17	162

- ③⑥ 居宅介護支援
- ① 担当するケアマネジャーの「説明がわかりやすいか」「言葉使いや態度はどうか」など、対応に関して利用者にアンケートをとった。90%以上の方に良い評価をいただいた。
  - ② 地域包括支援センター、第二地域包括支援センター、認知症推進員と連携して介護を必要とする方に適切に支援した。
    - ・ 認知症で徘徊があるケース
    - ・ 高齢者夫婦で認知症のケース
    - ・ サービスが必要であるが介入が難しいケース
  - ③ 令和3年度介護報酬改定をケアマネジャー全員が正確に理解していることを確認し適正なプランを作成した。
  - ④ 新型コロナウイルス感染症対策として、訪問は玄関先で短時間で終わるようにした。短時間の訪問でも不足なく対応できるよう事前に電話で状態を聞かせていただくなどの工夫をした。
  - ⑤ 在宅の重度要介護高齢者の主介護者が新型コロナウイルスに感染したケースがあった。利用者の入院や介護施設での受け入れを行政と調整したり、利用者が不安にならないように毎日連絡を入れるなどして支援した。

請求額状況													(単位: 千円)	
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	2,303	2,114	2,123	2,154	2,184	2,087	2,128	2,097	2,204	2,174	2,273	2,092	25,933	
令和2年度	2,247	2,167	2,135	2,149	2,206	2,090	2,162	2,281	2,274	2,235	2,164	2,173	26,283	

介護度別利用人数													(単位: 人)	
介護度分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R2年度 合計
総合事業	15	16	16	14	15	14	13	13	12	12	11	13	164	104
要介護1	41	38	36	37	39	39	41	42	39	42	39	37	470	253
要介護2	41	37	37	37	34	36	40	40	44	39	40	40	465	255
要介護3	20	20	22	22	21	20	18	14	19	18	21	21	236	106
要介護4	17	18	18	18	18	17	16	18	17	17	21	21	216	95
要介護5	8	7	7	8	8	7	8	7	7	6	6	7	86	37
合計	142	136	136	136	135	133	136	134	138	134	138	139	1,637	
令和2年度	144	144	139	140	143	140	140	147	148	148	144	141		1,718

(注)「総合事業」欄は、介護予防・日常生活支援総合事業として要支援認定を受けた方および基本チェックリストで事業対象者と認定された方が利用するプラン作成のこと

- ③⑦ 障がい者・障がい児計画相談
- ① 急に家族介護が困難な状況になった場合に緊急時支援が必要なケースを把握している。
  - ② 介護保険と障がいサービスの併用利用の相談や調整、日常生活自立支援事業の担当職員との情報共有、子ども家庭課や発達支援室との情報共有を行った。
  - ③ 医療的ケア児・(者)のネットワーク研修会(e-ケアネットそういん)に1回、計画相談員の資格研修のファシリテーターとして5日間参加した。
  - ④ 新型コロナウイルス感染対策として、事業所内での面談時のアクリル板の設置、訪問前後での携帯用アルコール消毒を行った。

計画相談利用人数													(単位：人)	
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	合計
令和3年度	12	12	12	14	21	20	15	10	11	11	22	12	172	76
令和2年度	21	17	15	17	25	18	13	12	14	15	16	20	203	75

- ③⑧ 短期集中訪問型サービスC
- ① 4月からご利用されていた方は目標を達成して終了した。  
 ② 1件利用相談があった。  
 ③ 今年度の利用者は1名。通常の介護保険サービスでは対応が困難な自宅外の訓練を実施し目標を達成して終了した。
- ③⑨ 地域リハビリテーション活動支援事業
- ① 毎月開催される地域ケア会議へ出席した。運動やりハビリに関して助言した。  
 ② 3月に1件町内の生活介護事業所に出向き、運動やりハビリに関して助言、指導した。
- ④⑩ 短期集中通所型サービスC
- ① 前年度11月から利用されていた方の利用期間が終了し、5～6月は対象者がなかった。7月以降には新規利用が2件あった。  
 ② 元の生活に戻れるよう、体力、持久力向上及び地域活動の参加に必要な運動のメニューを提供した。  
 ③ 4名が利用を終了し、うち1名は地域活動への参加を再開された。他3名は予防通所介護の利用になった。
- ④⑪ 通所型サービスB事業
- ① コロナ感染拡大や緊急事態宣言で休止した期間があり、予定していた36回のうち6回を開催した。  
 100歳体操2回 麻雀2回 カラオケ1回 ヨガ1回  
 ② 新しく椅子ヨガと介護予防ダンスのメニューを取り入れ、運動機能の維持に努めた。  
 ③ コロナ感染拡大予防のため、参加予約制、消毒の徹底、飲食物の提供中止などの対応を行った。

利用者人数													(単位：人)	
期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	32	/	/	/	8	/	17	25	35	28	/	/	145	
令和2年度	/	/	/	56	/	/	68	55	/	/	/	/	179	

### 地域包括支援センター分野

- ④⑫ 一般介護予防事業
- 地域の互助、民間サービスとの役割分担を踏まえつつ、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりに努めている。しかし、本年はコロナ禍により地域の活動等が制限されていたため、事業実施が困難な状況であった。
- ① 介護予防把握事業
- ・住民介護予防事業実情把握 1回
  - ・地域主体のカフェ、100歳体操にて実情把握 各2回
- ② 介護予防普及啓発事業(コロナ禍で9月中止)
- ・地域の集まりに参加 3回
  - ・HP・Facebookにて介護予防、健康維持活動の紹介 2回
  - ・広報TOINへの記事掲載 3回
  - ・フレイル予防教室の開催 3回

<p>一般介護予防事業</p>	<p>③ 地域介護予防活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の100歳体操にてフレイル予防を指導 1回</li> <li>・百歳体操サロンにて社会参加フレイルについて講話 1回</li> <li>・フレイル予防教室にて、フレイル予防のポイントの講話 1回</li> <li>・瀬古泉フレイルサポーターチェックへの参加</li> <li>・フレイルサポーター養成講座の見学 1回</li> </ul> <p>④ 研修</p> <p>東員町フレイルチェック事業の意見交換会 2名参加</p>
<p>④③ 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）</p>	<p>(1)第1号介護予防支援業務(介護予防ケアマネジメント)</p> <p>要支援者等に対し、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、適切なサービスを行った。 (第1号介護予防支援計画数 209 件(内 委託件数 129 件))</p> <p>(2)総合相談支援業務</p> <p>支援を必要とする高齢者を見出し、初期的な相談から継続的・専門的な見守り支援を行った。</p> <p>①総合相談支援 相談件数 2,699件 (内高齢者虐待 100件)</p> <p>②高齢者実態調査 (対象者:65歳以降5歳ごとの節目の人 1,611人) (内訳 神田地区305人、稲部地区158人、三和地区192人  笹尾西地区275人、笹尾東地区340人、城山地区341人)</p> <p>③民生児童委員と相談連携件数 340件 2ヶ月毎の民生児童委員協議会の役員会に連携状況の報告と定例会にて連携事例の報告を行った。</p> <p>④その他 お寺との相談連携件数 1回 お寺とのネットワーク強化のため、福泉寺との意見交換会 3回</p> <p>(3)権利擁護業務</p> <p>①日常生活自立支援事業、成年後見制度等の権利擁護を目的としたサービスの提供や必要な機関につなげた。273件</p> <p>②権利擁護啓発事業 終活セミナー 1回</p> <p>(4)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p> <p>住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等の連携・協働のもと、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いなべ総合病院退院支援委員会 6回</li> <li>・日下病院退院支援委員会 4回</li> <li>・居宅支援事業所とのミューチュアルミーティング 9回</li> <li>・居宅介護支援事業所・サービス事業所会議 1回</li> <li>・介護支援専門員意見交換会 1回</li> <li>・事例検討会 2回</li> <li>・東員町福祉事業所連絡協議会との意見交換会 1回 (コロナ禍等、非常時の協力体制等について)</li> <li>・介護支援専門員後方支援(助言等含む) 151回</li> <li>・その他研修会等参加 12回</li> </ul>

<p>包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）</p>	<p>(5)地域ケア会議推進業務          介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門知識を有する者、その他関係者により構成される会議を町と協力して開催した。          本年度、参加者で協議し会議の見直しを図るとともにコロナ禍で実施するため、オンラインでの開催を行った。          月1回開催(延べ6回開催、内オンライン4回) 検討案件21件</p>
<p>④ 包括支援事業（社会保障充実分）</p>	<p>(1)在宅医療・介護連携推進業務          住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進した。          ・いなべ在宅医療・介護連携研究会運営委員会 5回          ・ 同 研修会・研究会 2回          ・アクションミーティング 1回          ・いなべ在宅医療多職種連携推進協議会 1回          ・医療ソーシャルワーカーとケアマネとの連携研修会 1回（他打合せ1回）          ・桑名市 在宅医療・介護連携支援事業多職種研修会 1回          ・桑名市 地域医療介護従事者退院支援研修 1回          ・MSW/PSW部会見学 1回          ・難病在宅ケア支援研修会 1回</p> <p>(2)生活支援体制整備業務          生活支援コーディネーターと連携し、自治会、シニアクラブ、民生委員等と日常生活上の支援及び社会参加の推進に努めた。          ・連携会議の実施 9回</p> <p>(3)認知症施策推進業務          認知症地域推進委員と連携を図り、認知症の早期診断・早期対応を行うとともに家族に対する支援を行った。          ・認知症初期チームへの移管件数 3件          ・認知症疾患医療センター・行政・包括支援センター連携会議 19回          ・テーブルミーティング 10回          ・まめまちカフェ参加 2回          ・家族相談会 2回          ・認知症サポーター研修講師 4回（参加人数 108人）          （内キッズサポーター養成支援2回、HP・Facebookに掲載）          ・認知症サポーターステップアップ研修会講師 1回（参加人数29人）</p>
<p>⑤ 任意事業</p>	<p>福祉用具・住宅改修に関する相談助言を行った。          ・福祉用具 5件          ・住宅改修 6件</p>



④⑥ 指定介護予防 支援事業	<p>介護保険における予防給付の対象となる要支援者が予防サービス等の適切な利用を行えるよう、介護予防サービス計画を作成するとともに、介護予防サービス事業者等との連絡調整等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サービス計画数 166件(内 委託件数 146件)</li> </ul>
④⑦ 基幹型業務	<p>基幹型地域包括支援センターとして、町内全域の基幹的役割を担うため、第二包括支援センター間の連絡調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括支援センター連絡調整会議の実施 35回 (基本毎週実施)</li> <li>・町と包括支援センターの連絡会議 12回 (月1回実施)</li> </ul>
④⑧ その他の業務	<p>配食サービス、緊急通報装置設置事業等町が実施する事業に協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お電話くださいカード作成・配布 町内・いなべ市の医療機関、歯科医院、薬局、商工会会員、フレイル教室参加者等、1,000枚以上を配布した。</li> <li>・地域包括支援センター通信連載(広報とういん8月号から掲載開始)</li> <li>・AI実証実験意見交換会 5回</li> <li>・地域密着型介護サービス事業所の運営推進会議への参加 1回</li> <li>・サービス事業所での事業所発表会 2名参加</li> <li>・地域権利擁護支援研修会(高齢者虐待対応現認者専門研修)3日間参加</li> </ul>